



## 2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月6日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986 - 38 - 0847

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第2四半期の業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	15,529	0.2	883	17.5	1,003	15.2	687	15.3
2022年6月期第2四半期	15,565	14.0	1,071	33.9	1,182	33.5	812	33.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	48.79	
2022年6月期第2四半期	57.12	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	21,455	16,921	78.9
2022年6月期	20,737	16,493	79.5

(参考)自己資本 2023年6月期第2四半期 16,921百万円 2022年6月期 16,493百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		30.00	30.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年6月期の業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,600	2.4	1,480	26.4	1,700	23.6	1,158	24.0	82.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	14,509,800 株	2022年6月期	14,509,800 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	341,100 株	2022年6月期	464,600 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	14,101,785 株	2022年6月期2Q	14,218,857 株

(注) E S O P信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第2四半期累計期間237,085株、第2四半期累計期間107,814株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、行動制限の緩和などにより経済活動の正常化へ向けた動きが進みました。一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の進行による物価上昇が続いており、個人消費は節約志向が強まるなど景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社はお客様と従業員の安全を最優先に考えた店舗運営に取り組みながら、これまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と売場改装を推進するとともに、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を積極的に開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践しております。また、2023年秋にオープン予定の松原店（大阪府）につきましても、売場作りや人材確保等、開店へ向けた準備を計画通り順調に進めております。

当第2四半期累計期間は、度重なる台風の発生により一部店舗で臨時休業するなど、天候不順の影響を大きく受けたことなどから、全店ベースの来店客数は前年同期比95.8%、客単価は同104.1%となり、売上高は同99.8%の155億29百万円となりました。

利益につきましては、売上総利益率が前年同期比0.4ポイント伸長の32.3%となりましたが、人件費や電気代の増加等により販売費及び一般管理費は前年同期比106.3%と増加し、営業利益は同82.5%の8億83百万円、経常利益は同84.8%の10億3百万円、四半期純利益は同84.7%の6億87百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第2四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店（既存店）の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	8,853	56.9%	8,871	57.1%	18	100.2%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	4,717	30.3%	4,652	30.0%	△64	98.6%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	1,994	12.8%	2,005	12.9%	11	100.6%
合計	15,565	100.0%	15,529	100.0%	△35	99.8%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ7億17百万円増加の214億55百万円となりました。これは主に現金及び預金が19億96百万円減少した一方、商品が8億80百万円、有形固定資産が17億49百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ2億88百万円増加の45億33百万円となりました。これは主に長期借入金が80百万円、その他流動負債が2億72百万円減少した一方、買掛金が6億45百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ4億28百万円増加の169億21百万円となりました。これは主に剰余金の配当が4億26百万円あった一方、自己株式が1億61百万円減少したことと四半期純利益を6億87百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ19億96百万円減少の13億62百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4億95百万円（前年同期は9億88百万円の獲得）となりました。これは主に棚卸資産の増加額が8億76百万円、法人税等の支払額が2億51百万円となったのに対し、税引前四半期純利益が10億3百万円、仕入債務の増加額が6億45百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、20億80百万円（前年同期3億25百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が20億78百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億12百万円（前年同期は8億36百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額が4億26百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表しました予想を変更しておりません

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,358	1,362
売掛金	444	526
商品	6,006	6,887
貯蔵品	37	34
その他	202	245
流動資産合計	10,051	9,056
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,816	4,673
土地	2,117	2,117
建設仮勘定	640	2,424
その他(純額)	870	979
有形固定資産合計	8,445	10,194
無形固定資産		
	325	355
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	781	776
その他	1,135	1,071
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,916	1,848
固定資産合計	10,686	12,399
資産合計	20,737	21,455
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,871	2,517
短期借入金	160	160
未払法人税等	288	293
その他	1,261	989
流動負債合計	3,581	3,960
固定負債		
長期借入金	80	—
資産除去債務	405	409
その他	177	164
固定負債合計	663	573
負債合計	4,244	4,533
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	14,998	15,260
自己株式	△636	△475
株主資本合計	16,505	16,928
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12	△7
評価・換算差額等合計	△12	△7
純資産合計	16,493	16,921
負債純資産合計	20,737	21,455

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	15,565	15,529
売上原価	10,598	10,506
売上総利益	4,966	5,022
販売費及び一般管理費	3,894	4,139
営業利益	1,071	883
営業外収益		
受取手数料	75	75
投資不動産賃貸料	58	58
その他	5	10
営業外収益合計	138	144
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	21	21
その他	6	2
営業外費用合計	27	24
経常利益	1,182	1,003
税引前四半期純利益	1,182	1,003
法人税、住民税及び事業税	271	252
法人税等調整額	99	62
法人税等合計	370	315
四半期純利益	812	687

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,182	1,003
減価償却費	240	252
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	—	0
投資不動産賃貸料	△58	△58
投資不動産賃貸費用	21	21
売上債権の増減額(△は増加)	△35	△82
棚卸資産の増減額(△は増加)	△216	△876
仕入債務の増減額(△は減少)	417	645
その他	△52	△159
小計	1,497	745
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△510	△251
営業活動によるキャッシュ・フロー	988	495
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△296	△2,078
投資不動産の賃貸による支出	△15	△15
投資不動産の賃貸による収入	58	58
貸付金の回収による収入	3	—
その他	△75	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△2,080
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△80	△80
自己株式の取得による支出	△410	—
自己株式の売却による収入	103	108
リース債務の返済による支出	△14	△14
配当金の支払額	△434	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△836	△412
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△173	△1,996
現金及び現金同等物の期首残高	3,903	3,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,730	1,362

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。